

国民体育大会

第74回



栄冠を目指して2019チームちば



千葉県競技力向上推進本部
躍進チームちば

Vol. 14

男女総合(天皇杯) 7位入賞
女子総合(皇后杯) 7位入賞

<http://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/taiiku/sports/kyougiryoku/index.html>

千葉県競技力向上推進本部

検索





千葉県選手団団長
千葉県知事
森田 健作

「常勝チームちば」

総勢597名の選手団の皆様、「第74回国民体育大会」での、天皇杯得点7位入賞・皇后杯得点7位入賞、誠にありがとうございます。天皇杯得点は5年連続、皇后杯得点は11年連続の入賞を果たしました。この素晴らしい結果は、「チームちば」一丸となって戦い抜いたことによる、まさしく「ONE TEAM」であったことを実感しています。

本県では、今年開催される東京2020オリンピック・パラリンピックにおいて、8競技が実施されることから、県民のスポーツへの関心は一段と高まりを見せているところです。

このような中、選手団の皆様が、県民の代表としての自信と誇りを胸に、最後まで諦めない全力プレーで活躍されたことは、多くの県民に「勇気」と「感動」を与えてくれました。

すでに、次の「燃ゆる感動かごしま国体」に向けて、千葉県選手団の新たなチャレンジがスタートしています。引き続き、関係者の皆様には「スポーツ立県ちば」の一層の推進に向けて、御支援、御協力をお願い申し上げますとともに、「チームちば」の更なる活躍を期待いたします。

陸上競技



男子監督 / 伊東 謙二
女子監督 / 花岡 麻帆

- 成年男子 / 100m 8位 川上 拓也
110mH 5位 森戸 信陽
800m 8位 梅谷 健太
- 成年女子 / 5000m 4位 青山 環衣
5000mW 2位 道口 愛
- 少年男子A / 100m 4位 藤原 寛人
400m 7位 山本 峻汰
棒高跳 4位 山田 直季
走幅跳 1位 鳥海 勇斗
- 少年男子共通 / 800m 1位 金子 魁玖人
110mH 1位 村竹 ラシッド

- 少年女子A / 100m 2位 景山 咲穂
400m 5位 松岡 萌絵
3000m 8位 小坂井 智絵
100mH 8位 増田 純菜
- 少年女子B / 100m 2位 ハッサン ナワール
走幅跳 2位 白土 莉紅
- 少年女子共通 / 円盤投 8位・やり投 2位 内田 萌奈



鹿児島国体
に向けての
コメント

選手が持っている競技力を引き出し、大会においてその能力を発揮できるチーム作りとコーチングを目指し今年も天皇杯獲得を目標に頑張ります。



水泳



競泳監督 / 森 謙一郎 西崎 勇
水球女子監督 / 加藤 英雄

☆競泳

- 成年男子 / 50m自由形 8位 山本 啓昭
400m自由形 2位 平井 彬嗣
- 成年女子 / 100m自由形 8位 持田 早智
100m背泳ぎ 4位 湯原 利佳
100mバタフライ 7位 飯塚 千遥
4x50mフリーリレー 4位 込山・持田・飯塚・梅澤
4x100mメドレーリレー 5位 湯原・徳永・飯塚・持田
- 少年男子A / 400m個人メドレー 3位 寺門 弦輝
200mバタフライ 5位 井上海
400m自由形 8位 大作 健二
4x100mメドレーリレー 4位 寺門・落合・井上川嶋
4x200mフリーリレー 7位 寺門・岩立・川嶋・大作
- 少年男子B / 400m自由形 4位 江沢 陸
4x100mメドレーリレー 8位 養日・工藤・山口・設楽
- 少年女子A / 200m背泳ぎ 7位 星 美里
200mバタフライ 7位 小川 幸美
50m自由形 6位 松村 多恵
4x100mフリーリレー 6位 久保田・松村・星・賀部

- 少年女子B / 100mバタフライ 2位 遠山 乃梨
4x100mメドレーリレー 7位 笹生・谷口・遠山・清水

☆水球

- 女子 / 5位 野元 裕世 松浦 優花 吉見 ひより 山本 彩乃 山井 裕加 関根 桜彩 柳生 響 木村 美結 阿部 紗也香 岡田 日和 杉本 華音

☆OWS

全種別 / 入賞なし



鹿児島国体に向けてのコメント

- 競泳・全員決勝進出を目指します。
- OWS・参加から入賞へ。
- 水球・女子だけから男子も本大会へ。
- 飛込・AS・燃ゆる強化で復活を目指します。



テニス



男子監督 / 齋田 淳
女子監督 / 秋山 礼美

- 成年男子 / 8位 大和田 秀俊 蓮見 亮登
- 成年女子 / 7位 岩井 真優 清水 里咲
- 少年男子 / 6位 石井 涼太 村松 陸
- 少年女子 / 5位 山崎 郁美 長門 桃子



鹿児島国体
に向けてのコメント

茨城国体は選手の大活躍のお陰で、念願の4種別入賞により天皇杯4位を獲得することができました。鹿児島でも最高の結果を残せるように頑張ります。



ボート



少年男子監督 / 魚地 利明

- 成年男子 / 入賞なし
- 少年男子 / ダブルスカル 5位 大竹 海斗 片野 凜



鹿児島国体
に向けてのコメント

少年男女、成年男女、1種目でも多く本大会に出場を目指します。本大会において、入賞種目を増やし天皇杯、皇后杯入賞できるようにボート競技が一つになり頑張ります。

栄冠を目指して2019チームちば

ライフル射撃



監督/藤平 敏

- 成年男子/AR60 3位・AR60PR 5位 青山 敬志
- 成年女子/R3×40 6位・R60PR 1位 千葉 朔海
AR60PRW 4位 鈴木 若葉
- 少年男子/AR60J 4位 佐々木 徹也
BR60J 1位・BR30J 3位 窪田 悠希
- 少年女子/AR60WJ 2位 泉館 玲香
BR60WJ 8位・BR30WJ 4位 広瀬 こころ
BP60WJ 6位 山本 胡桃



鹿児島国体に向けてのコメント

鹿児島国体に向けて油断なく準備を進め、関東ブロック大会全員突破で、茨城国体に続いての上位入賞を目指します。

ゴルフ



女子監督/増田 秀仁
少年男子監督/日暮 浩之

- 成年男子/入賞なし
- 女子/2位 羽藤 和奏 六車 日那乃 吉澤 柚月
- 少年男子/8位 大野 倅 小林 龍生 坂田 一真

鹿児島国体に向けてのコメント

女子は昨年3位、本年2位の勢いを維持すること。また、成年男子・少年男子では入賞を果たす事。これを目標として、チーム全体でのレベルアップを目指します。



カヌー



スラローム成年男女監督/井田 涼介
スプリント少年男女監督/秋葉 一憲

- 成年男子/SLK1(15) 4位・SLK1(25) 3位 山本 嶺
SPC1(500m) 3位 岸 平悟
- 成年女子/SLK1(25) 7位 藤井 南帆
- 少年男子/SPK1(500m) 7位 吉岡 和美
- 少年女子/SPK1(500m) 1位・SPK1(200m) 2位 諏訪 智美
SPK2(500m) 1位・SPK2(200m) 1位 柳堀 あいり・高野 真緒



鹿児島国体に向けてのコメント

茨城国体は天皇杯・皇后杯共に入賞できました。応援してくださった方々への感謝を忘れず、鹿児島国体では全種別入賞を目標に更なる高みを目指します。

セーリング



少年男女監督/天貝 謙介

- 成年男子/入賞なし
- 成年女子/入賞なし
- 少年男子/420級 5位 三村 颯斗 田尻 遊
- 少年女子/420級 3位 石塚 春菜 市村 みずき
レーザーラジアル級 2位 佐藤 真心

鹿児島国体に向けてのコメント

少年チームの勢いと成年チームの経験をお互いに融合させて、各種別で積極的なレース展開をしていきたいです。そして3年連続の入賞を目指します!



相撲



- 成年男子/予選敗退
- 少年男子/決勝トーナメント1回戦敗退



鹿児島国体に向けてのコメント

茨城国体では思うような結果を出すことができませんでした。新たなメンバーで、新たな気持ちで、鹿児島国体に挑んでいきます。

なぎなた



- 成年女子/試合 2回戦敗退 演技 2回戦敗退
- 少年女子/試合 1回戦敗退 演技 3回戦敗退

鹿児島国体に向けてのコメント

競技人口の増加に伴い、競技力も向上してきました。鹿児島国体では、入賞を目指して全力で稽古していきます。



馬術



監督/江里口 裕子

- 成年男子/馬場馬術 3位・自由演技馬場馬術 4位 増元 拓巳
トッスコア 6位・団体大障害飛越 2位 小牧 加矢太
スピード&ハンディネス 7位 水山 大輔
- 成年女子/馬場馬術 5位・自由演技馬場馬術 5位 増元 真以子
ダービー 1位 福島 章
二段階障害飛越 2位・標準障害飛越 7位 朴本 真侑
- 少年/標準障害飛越 3位・トッスコア 8位 吉野 真奈
スピード&ハンディネス 3位・ダービー 4位 安西 統一
団体障害飛越 2位 安西 統一 村尾 颯有



鹿児島国体に向けてのコメント

茨城国体では成年男女少年と好成績をあげることができました。鹿児島国体に向けてさらに強化をし、本年以上天皇杯皇后杯得点を獲得できるよう頑張ります。

ハンドボール



成年男子監督/玉屋 裕基 少年男子監督/杉浦 嘉彦
少年女子監督/平松 裕

- 成年男子/5位 田中 直樹 白石 龍聖 長谷川 舜 白田 翔馬 大村 俊介 高橋 宗汰 峰岸 勲志郎 島田 純 井沼田 賢一 加瀬 駿也 小川 航世 岩田 圭司
- 成年女子/1回戦敗退
- 少年男子/5位 大島 永聖 根本 光太郎 アシール 亜寿治 小池 大智 渡邊 桂也 鴻巣 開輝 萩原 雅也 村上 歩夢 高橋 侑吾 天野 太陽 高橋 飛路 金田 昇
- 少年女子/5位 宮代 花菜 田中 優里 高橋 璃晏 永嶋 萌々子 小柴 夏輝 橋山 明星 西本 華子 安田 優羽 小沼 美尋 尾関 菜 近藤 衣良 三明 千弥那



鹿児島国体に向けてのコメント

茨城国体には全種別出場し、上位入賞を目指して頑張りました。鹿児島国体においても、全種別の出場を目指し、今年度以上の成績を狙い、強化して参ります。

柔道



成年男子監督/岩下一也
少年男子監督/近野 貞治

- 成年男子/2位 清水 夏輝 六郷 雄平 細谷 京亮 下和田 翔平 加藤 博剛
- 女子/1回戦敗退
- 少年男子/2位 濱田 大樹 市川 晃次郎 北條 嘉人 金澤 聡瑠 柴田 真雄



鹿児島国体に向けてのコメント

鹿児島国体の全種別出場、入賞を目指し、選手・監督・スタッフが一丸となって総合優勝を狙います。

バドミントン



少年女子監督/高瀬 秀雄

- 成年女子/2回戦敗退
- 少年男子/1回戦敗退
- 少年女子/5位
杉山 未来
栗原 琉夏
岡本 萌奈未



鹿児島国体に向けてのコメント

鹿児島国体では全種別で出場を果たし一戦一戦、勝利を重ねて入賞に挑戦します。各種別ともダブルスの強化を図りチーム一丸となって全力で目標達成に精進します。



ウェイトリフティング



監督/高村 義隆

- 成年男子/73kg級スナッチ 7位 吉井 暖登
- 女子/-55kg級C&J 8位 鈴木 梨羅
59kg級スナッチ 1位
C&J 1位 安藤 美希子



鹿児島国体に向けてのコメント

鹿児島国体に向けて、リニューアルし、選手・指導者一丸となって強化に取り組みます。鹿児島国体では、今年より上位を目指します。

フェンシング



- 成年男子/フルール 1回戦敗退
エペ 1回戦敗退

鹿児島国体に向けてのコメント

茨城国体では惜しくも入賞を逃したので、鹿児島国体では「全種別入賞」を目標に、監督・選手一丸となって強化に取り組みます。



ソフトテニス



成年男子監督 / 藤原 亮二
成年女子監督 / 齋藤 広宣 少年男子監督 / 東 慎一郎

- 成年男子 / 8位 林田 和樹 高月 拓磨 十津川 将義 溝端 亮二 齋藤 大樹
- 成年女子 / 6位 井田 真季 菊地 はづき 大井 樹来 黒田 麻衣 松尾 七海
- 少年男子 / 3位 松橋 嘉依 山下 真央 滝瀬 敬太 岡田 凌旺 遠藤 陸斗

鹿児島国体に向けてのコメント

今回の結果に満足することなく、鹿児島国体に向けて更なる強化を図りたいと思います。総合優勝を目指し、選手・スタッフ一同頑張ります。



ボウリング



成年男子監督 / 渡辺 勇
成年女子監督 / 張ヶ谷 富美子

- 成年男子 / 団体戦(4人組) 8位 鈴木 大介 平野 一平 吉野 貴宣 小倉 康輔
- 成年女子 / 団体戦(2人組) A 2位 向谷 優那 鈴木 順子
- 団体戦(2人組) B 6位 水野 あやか 藤田 梨聖
- 少年男子 / 入賞なし

鹿児島国体に向けてのコメント

茨城国体では皇后杯6位を獲得。鹿児島国体は全種別の出場を目指し、天皇杯・皇后杯の上位入賞を狙います。



軟式野球



- 成年男子 / 2回戦敗退



鹿児島国体に向けてのコメント

鹿児島国体に向け、いかに接戦を制するかをテーマに守りを重視した点を与えない野球の実践と大胆かつ積極的な攻撃の強化を図り、優勝を目指します。

スポーツライミング



成年男子監督 / 阿部 雅史
少年男子監督 / 飯田 恒次

- 成年男子 / ボルダリング7位 村井 隆一 島谷 渓亮
- 少年男子 / リード4位・ボルダリング7位 大里 拓己 村下 善乙

鹿児島国体に向けてのコメント

茨城国体では成年男子と少年男子が出場して入賞しました。さらに上の順位を目指し、かつ全種別での入賞を目標に選手・スタッフ一丸となって強化に取り組みます。



ラグビーフットボール



鹿児島国体に向けてのコメント

茨城国体での全種別予選敗退の悔しさを忘れずに戦います。全てのカテゴリでの入賞を目指します。チームちばの名に恥じぬように精進します。



トライアスロン



- 成年男子 / 入賞なし
- 成年女子 / 入賞なし

鹿児島国体に向けてのコメント

若手主体で臨んだ茨城国体では、入賞まであと少しのところでした。この悔しさを忘れず、鹿児島国体では天皇杯・皇后杯獲得という目標達成ができるよう、チーム一丸となって頑張ります。



剣道



成年男子監督兼選手 / 林 佐登美

- 成年男子 / 3位 林 佐登美 鈴木 剛 小谷 明德 熊谷 省吾 小川 侑吾
- 少年男子 / 1回戦敗退
- 少年女子 / 1回戦敗退

鹿児島国体に向けてのコメント

茨城国体での3種別出場、成年男子3位入賞を糧に、鹿児島国体での「チームちば」の更なる飛躍を目指し、一丸となって強化を推進していきます。



自転車



成年男子監督 / 阿部 智篤
少年男子監督 / 造田 康明

- 成年男子 / ケイリン 6位 板倉 玄京
1kmタイムトライアル 3位 荒川 仁
- 少年男子 / スクラッチ 8位 中村 凌輔

鹿児島国体に向けてのコメント

茨城国体では3種目入賞しましたが、目標を達成することができませんでした。鹿児島国体では、全種別入賞を目指して強化に取り組みます。



ソフトボール



鹿児島国体に向けてのコメント

鹿児島国体に向け、今後も継続して強化活動に励み激戦の関東ブロックを通過し、本大会での天皇杯入賞を目標にチームの底上げを図ります。

空手道



監督/馬場 秀和

- 成年男子/組手軽量級 2位 池澤 海
組手中量級 3位 宮崎 佑介
- 成年女子/組手 5位 澤江 優月
- 少年女子/組手 2位 嶋田 ささら



鹿児島国体に向けてのコメント

茨城国体では個人戦入賞者が4種別で出るものの、団体戦が入賞できなかったのが残念です。鹿児島国体では、全種別入賞目指して頑張ります。

弓道



監督/松浦 陽次

- 成年女子/近的7位・遠的順位なし

金田 由紀
内山 知美
須田 優美

鹿児島国体に向けてのコメント

沢山の方に応援頂き、茨城国体では近的7位に入賞することができました。有難うございます。鹿児島国体では4種別一丸となって総合優勝を掴み取ってきます。



アーチェリー



監督/小森 政之

- 成年女子/4位 中野 遥 吉留 光咲 荒井 公佳
- 少年男子/予選敗退



鹿児島国体に向けてのコメント

近年各種別での上位入賞を連続しており更なる飛躍を目指している。鹿児島国体に向けて関東ブロック大会を全種別通過!本国体では男女とも上位入賞を目指す!

クレー射撃



監督兼選手/星野 登志夫

- 成年/トラップ団体 3位 星野 登志夫 Bruce Derek Nimmo 秋葉 隆行



三重国体に向けてのコメント

茨城国体はトラップのみ参加で天皇杯5位になりました。隔年開催で1年空きますが、その分力をためてトラップ・スキート共に本国体出場し上位を目指します。

ホッケー



鹿児島国体に向けてのコメント

鹿児島国体には、茨城国体で果たせなかった本国体出場を全種別とも目標とし、天皇杯・皇后杯上位入賞を監督選手一丸となり目指します。

冬季大会

スケート



スプリント成年男子監督/椎名 邦仁 フィギュア女子監督/福屋 優子

☆スプリント

- 成年男子/1500m 7位 大竹 拓三
- 成年女子/入賞なし

☆フィギュア

- 成年女子/6位 松丸 夏末 船迫 麗愛
- 少年女子/8位 吉岡 詩果 三枝 知香子



青森国体に向けてのコメント

天皇杯連続入賞の目標達成に微力ながら貢献できるように選手・監督・スタッフ一丸となって頑張ります。

アイスホッケー



青森国体に向けてのコメント

近年千葉県のジュニアチームで活躍した選手たちも増えてチームワークは抜群です。千葉県選抜チームは本大会出場を目標に頑張ります。



スキー



- 全種別/入賞なし

富山国体に向けてのコメント

悲願の入賞目指し、普及、育成、強化にチーム一丸となって取り組んでいきます。



体操



成年男子監督／蒲原 彰吾 少年男子監督／大竹 秀一
少年女子監督／神崎 俊 トランポリン男子・女子監督／伊藤 有紀子

☆競技

- 成年男子／3位 前野 風哉 村山 寛人 鈴木 茂斗 中川 将径 山田 元大
- 少年男子／1位 橋本 大輝 金田 希一 江俣 有寿彰 倉田 玲男 安達 太一
- 少年女子／3位 青木 梨奈 兒玉 優光子 堀 颯香 芹田 未果子 大越 美杏

☆新体操

- 少年女子／入賞なし

☆トランポリン

- 男子／4位 石井 祐雅
- 女子／1位 宇山 芽紅

鹿児島国体に向けてのコメント

茨城国体では体操・新体操にトランポリンが新種目に加わり一致団結して天皇杯2位、皇后杯7位入賞を果たしました。鹿児島国体では更に上位入賞を目指します。



レスリング



成年男子・女子監督／吉田 雅明
少年男子監督／大澤 友博

- 成年男子／フリー61kg級 2位 森下 史崇
フリー74kg級 5位 寺田 靖也
フリー97kg級 1位 吉田 ケイワン
- 少年男子／フリー65kg級 2位 山倉 孝介
フリー71kg級 1位 高田 熙
フリー92kg級 1位 TUVAADORJ BUKHCHULUUN
グレコローマン60kg級 5位 宇土平 莞爾
グレコローマン80kg級 1位 山田 脩
グレコローマン125kg級 2位 持永 空弥
- 女子／フリー53kg級 2位 五十嵐 未帆



鹿児島国体に向けてのコメント

茨城国体は、天皇杯2位・皇后杯4位となりました。今後については、選手・監督・連盟が一丸となり、高いレベルを目指し練習を行い鹿児島国体での天皇杯・皇后杯1位を目指します。

ボクシング



成年男子監督／石井 大伸
少年男子監督／関茂 峰和 横山 拓児

- 成年男子／バンタム級 1位 小川 寛樹
ライトヘビー級 5位 根本 拳太
- 少年男子／ピン級 3位 佐伯 侑馬
ライト級 1位 堤 麗斗
ライトウェルター級 1位 高橋 麗斗
ウェルター級 3位 松永 敦朗



鹿児島国体に向けてのコメント

茨城国体では成年少年ともに健闘し、天皇杯3位入賞することができました。鹿児島国体に向け強化を図り、天皇杯1位を目指して頑張ります。

サッカー



- 少年男子／2回戦敗退



鹿児島国体に向けてのコメント

茨城国体では成績が残せず、悔しい結果となってしまいました。鹿児島国体では、全種別ベスト8以上を目指して強化していきます。

バスケットボール



少年男子監督／相田 貴史
成年女子監督／鈴木 親光 少年女子監督／高松 淳史

- 成年女子／5位 余郷 美奈 田口 明佳莉 山本 加奈子 佃 夏子
関根 彩乃 渡邊 愛海 村岡 美英 秋元 文香
中村 美羽 馬雲 小山 真実
- 少年男子／5位 田中 晴瑛 市場 侑斗 天野 皓介 濱野 聡一郎
神川 大地 古川 大貴 河崎 歩夢 小河原 幹太
坂本 康成 廣岡 大翔 宮原 峻祐 若林 勇翔
- 少年女子／5位 中村 帆香 齋藤 まみ 高根澤 伽心 花島 百香
田嶋 優希奈 渡辺 花菜 田平 真弥 石橋 花穂
石田 美羽 田丸 実来 早川 菜々
アチャラ オゲチ クランシー



鹿児島国体に向けてのコメント

バスケット王国千葉を継続するため、本国体4種別出場、天皇杯皇后杯優勝を目指します。

バレーボール



- 6人制少年女子／2回戦敗退
- ビーチ少年男子／決勝トーナメント2回戦敗退
- ビーチ少年女子／決勝トーナメント1回戦敗退



鹿児島国体に向けてのコメント

茨城国体では悔しい結果であったが、鹿児島国体では全種別出場・入賞し復活を目指し強化します。

卓球



成年女子監督／石毛 宏幸

- 成年女子／5位 林 めぐみ 田中 千秋 伊藤 佑里子



鹿児島国体に向けてのコメント

今大会、成年女子において8年ぶりとなる第5位入賞を果たすことができました。その他の種別は本大会への出場を果たせませんでした。鹿児島国体では全種別出場を目指します。

国民体育大会 千葉県総合成績 (2巡目以降)

回数	開催年	開催地	男女総合成績 (天皇杯)	得点	女子総合成績 (皇后杯)	得点
43	63	京都	第11位	1311.50	第10位	511.00
44	平成元	北海道	第10位	1427.50	第11位	599.50
45	2	福岡	第10位	1355.00	第11位	561.00
46	3	石川	第9位	1589.66	第12位	586.50
47	4	山形	第13位	1232.99	第16位	508.50
48	5	香川・徳島	第10位	1555.50	第15位	535.50
49	6	愛知	第11位	1282.20	第12位	576.50
50	7	福島	第10位	1322.50	第15位	535.50
51	8	広島	第12位	1303.50	第15位	547.50
52	9	大阪	第13位	1163.00	第15位	550.00
53	10	神奈川	第9位	1360.00	第10位	611.50
54	11	熊本	第12位	1281.50	第17位	529.50
55	12	富山	第13位	1291.16	第16位	581.16
56	13	宮城	第13位	1255.50	第15位	595.50
57	14	高知	第12位	1414.00	第9位	759.00
58	15	静岡	第15位	1242.00	第11位	686.00
59	16	埼玉	第10位	1355.00	第11位	673.00
60	17	岡山	第12位	1251.50	第11位	634.00
61	18	兵庫	第9位	1373.00	第10位	644.50
62	19	秋田	第8位	1436.00	第10位	643.00
63	20	大分	第6位	1569.00	第9位	710.50
64	21	新潟	第6位	1589.50	第5位	760.00
65	22	千葉	第1位	2921.50	第1位	1325.50
66	23	山口	第7位	1612.50	第6位	830.50
67	24	岐阜	第7位	1444.00	第7位	722.00
68	25	東京	第7位	1524.50	第5位	834.50
69	26	長崎	第10位	1394.00	第6位	818.50
70	27	和歌山	第7位	1528.50	第6位	749.50
71	28	岩手	第5位	1676.00	第7位	919.00
72	29	愛媛	第8位	1531.50	第6位	842.50
73	30	福井	第5位	1708.50	第7位	830.00
74	令和元	茨城	第7位	1470.50	第7位	801.50
75	2	鹿児島	目指せ! 天皇杯獲得		目指せ! 皇后杯獲得	

第74回 国民体育大会総合成績

男女総合成績(天皇杯)

総合順位	都道府県	得点
1	茨城	2569.0
2	東京	2217.0
3	愛知	1789.0
4	埼玉	1735.0
5	神奈川	1643.5
6	大阪	1552.0
7	千葉	1470.5
8	京都	1410.0

女子総合成績(皇后杯)

総合順位	都道府県	得点
1	茨城	1331.0
2	東京	1286.5
3	愛知	1043.5
4	埼玉	997.5
5	大阪	926.0
6	京都	807.5
7	千葉	801.5
8	兵庫	787.0

「いきいき茨城ゆめ国体を終えて」

千葉県競技力向上推進本部長 滝川 伸輔
千葉県副知事



第74回国民体育大会に参加された千葉県選手団、各競技団体の皆様、天皇杯得点7位入賞・皇后杯得点7位入賞、誠にありがとうございます。

今大会の目標であった天皇杯得点5年連続、皇后杯得点11年連続の入賞達成は、「スポーツ立県ちば」を目指す本県にとって大変喜ばしいことです。この素晴らしい活躍は「第75回国民体育大会」に向けて、大きな弾みになると思われま。

今回の成果は、日頃から厳しい練習を重ねてきた選手の皆様はもちろん、監督・スタッフ・本部役員の皆様、千葉県の競技力向上に係わる全ての皆様の御尽力の賜物と、深く敬意と感謝の意を表します。

そして、いよいよ今年開催される東京2020オリンピック・パラリンピックにおいては、本県でもオリンピック4競技、パラリンピック4競技の計8競技が実施されます。開催に向けて、準備が急ピッチで進んでおり、また、様々なイベントが行われ、県民の皆様のスポーツへの関心は日に日に高まりを見せています。

今後とも、競技力向上推進本部では、本県競技力の更なるレベルアップを図り、国体を中心とした国内大会に加え、国際大会でも活躍できる選手の育成を目指し、より一層の発展に取り組んでまいりますので、皆様の御理解、御協力をお願いいたします。